

一般質問通告一覧

平成25年第4回島田市議会定例会
平成25年12月4日・5日・6日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

平成25年12月4日(水)

9番	村田 千鶴子	議員 (一問一答)	-----	1
19番	八木 伸雄	議員 (一問一答)	-----	2
20番	平松 吉祝	議員 (包括)	-----	3
4番	伊藤 孝	議員 (一問一答)	-----	4
8番	清水 唯史	議員 (一問一答)	-----	5
1番	青山 真虎	議員 (一問一答)	-----	6
5番	山本 孝夫	議員 (一問一答)	-----	7

平成25年12月5日(木)

10番	曾根 嘉明	議員 (一問一答)	-----	8
2番	杉野 直樹	議員 (一問一答)	-----	9
12番	河原崎 聖	議員 (一問一答)	-----	10
6番	森 伸一	議員 (一問一答)	-----	11
3番	横田川 真人	議員 (一問一答)	-----	12
17番	大石 節雄	議員 (一問一答)	-----	13

平成25年12月6日(金)

14番	紅林 貢	議員 (一問一答)	-----	14
11番	桜井 洋子	議員 (一問一答)	-----	15
18番	藤本 善男	議員 (一問一答)	-----	16

1. 9番 村田 千鶴子 議員 (一問一答)

1. 島田市の空き家の現状と対策について

近年、急速な高齢化や人口減少を背景に、管理されない空き家が全国的に増加している。こうした空き家が老朽化し、倒壊の恐れや、防犯、防火の面からも危険家屋化して社会問題になっている。

当市でも数年来、空き家となっている建物が顕著に見られるようになり、近隣の住民から不安の声も聞こえている。島田市の安心・安全な地域のまちづくりの観点から、以下について当局の見解を伺う。

- (1) 当市における廃屋・空き家の実態はどうか。
- (2) 廃屋・空き家に起因し
 - ① 倒壊の恐れ等の防災上の問題はないか。
 - ② 町並みが歯抜けになる等、景観上の支障についてはどうか。
 - ③ 雑草の繁茂、ごみの不法投棄等、衛生上の問題はないか。
 - ④ 不審者の居住等、防犯上の問題はないか。
- (3) 当市での空き家対策はどのように行っているのか。

2. 大井川河川敷を利活用しやすい環境に

島田市では市民一人1スポーツを理念に、子どもから高齢者までの市民が参加できる生涯スポーツ等を推進するとともに、スポーツ施設の整備や維持管理に積極的に取り組み、スポーツ人口の拡大に努めている。来年度から島田球場の耐震化・改修工事や横井運動場公園サッカー場の再整備をすることである。

大井川河川敷では、たくさんの団体が利用して地域におけるスポーツ活動を推進している。利用者の立場にたって、以下について当局の見解を伺う。

- (1) 大井川河川敷（左岸）の整備状況について
 - ① 夜間照明施設はどうか。
 - ② トイレの設置はどうか。
 - ③ 給水（水道）施設はどうか。
- (2) 今後の大井川河川敷の利活用構想についてどのように考えているか。

2. 19番 八木伸雄 議員 (一問一答)

1. 学校教育について

平成23年11月定例会の一般質問で、教育環境を問いただすべく質問した。島田市の児童・生徒の学力のレベルはどの程度か。教育行政の方向を正すべき議会、常任委員会の委員にさえ学力調査の結果は知らされていない。

その時の質問では、児童・生徒の父兄・保護者に結果を知らせ、学校・保護者・地域が一体となり子供の教育に取り組まなければ、学力の向上はできないのではないかと質問した。そのためにも全国一斉の学力調査の結果を少なくとも関係者や父兄・保護者には知らせるべきだと提案したが、前向きな解答は得られなかった。

当時の教育委員長であった染谷市長、学校教育課長であった濱田教育長は、立場が変わり当時の市長・教育長の方針と違いはあるのか。以下伺う。

- (1) 川勝知事の学力テスト全国ワーストワンの結果を受けての発言に対する見解はどうか。
- (2) 島田市の学力調査結果の学校別偏差値は、全国で最低である県の平均を下回ると想像するがどうか。
- (3) 児童・生徒の学力の変動は、基本的な生活習慣と連動していると考えがどうか。
- (4) スポーツでの個々のレベルアップと、学力のレベルアップに向けた努力は、ともに児童・生徒の成長に欠かせないものと考えが見解を伺う。
- (5) 市内の児童・生徒の学力向上に向けた対策で取り組んでいることがあれば伺う。
- (6) 今後新たに学力向上に向けた取り組みの必要性を感じているか伺う。また、取り組みへの対策があれば伺う。

2. 市発注事業の入札について

染谷市長の市の発注する事業は公平・公正にすべきとの考えは十二分に理解できる。しかし、一方で市の経済の活性化、経済の発展とその波及効果を図ることが、公共予算を執行する大きな役割であることも認識している。アベノミクスが国の直轄事業予算だけに集中して、地方予算は30%減額している今、せめて市の予算は市内の業者に集中させなければ、市の経済は大きく低迷するものと危惧すると同時に、市民にとって有効かつ無駄のない予算執行も求められる。そうしたことを踏まえ以下伺う。

- (1) 市発注の土木事業の入札基準及び指名業者の選定基準は何か。
- (2) 市発注の建築事業の入札基準及び指名業者の選定基準は何か。
- (3) 教育委員会の備品の入札基準及び指名業者の選定基準は何か。
- (4) 指定管理者の備品の入札基準及び指名業者の選定基準は何か。
- (5) ごみ収集、温泉運搬業者の選定の入札基準及び指名業者の選定基準は何か。
- (6) 市立保育園、コミュニティバスなどの運送業者選定の入札基準及び指名業者の選定基準は何か。

3. 20番 平松吉祝 議員 (包 括)

1. 特別支援教育について

近年、医学や心理学等の進展、社会におけるノーマライゼーションの理念の浸透等により障害の概念や範囲も変化している。小・中学校の通常の学級に在籍している児童生徒のうち、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症により学習や生活の面で特別な教育的支援を必要としている児童生徒が約6.5%存在する可能性が示されている。これらの児童生徒に対する適切な指導及び必要な支援は学校教育における喫緊の課題となっており、以下伺う。

- (1) 実態把握は実施しているか。
- (2) 発達障害の早期発見はどのように取り組んでいるか。
- (3) 各学校の特別支援教育コーディネーターの指名はできているか。また、活動補助が必要ではないか。
- (4) スクールソーシャルワーカーの配置はあるか。
- (5) 学習支援講師の配置を行っているか。

2. 運動部活動について

スポーツは人類が生み出した貴重な文化である。障害の有無や年齢、男女の違いを超えて人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆を深めることを可能にする。さらに、次代を担う青少年の生きる力を育み、他者への思いやりや協同する精神、公正さや規律を尊ぶ人格を形成する。

我が国の中学・高校における部活動は国際的にも高く評価されるが、一方で顧問教師の任意と善意で維持され、その多忙ぶりは想像を絶するものであり問題は山積している。部活動改善のため、以下伺う。

- (1) 各中学校の運動部数、部員数の推移はどうなっているか。
- (2) 顧問教師の勤務時間、勤務日数などの実態調査は行っているか。また、研修の機会はあるのか。
- (3) 顧問教師以外の外部指導者起用の現状はどうなっているか。
- (4) ガイドラインを作成し、外部指導者制度を導入したらどうか。

4. 4番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. 子育て環境の改善について

(1) 乳幼児の子育て環境について現状はどうか。

- ① 現在待機児童は何人いるのか。
- ② 自宅で子育てされている人数は何人か。
- ③ 親からの要望はどのようなものがあるか。

(2) 希望の幼稚園に入れたい児童は何人いるのか。また、その理由は何か。

2. 防災対策について

(1) 小・中学校における防災教育の現状はどうか。

(2) 避難所の準備は万全か。

3. 危機管理について

(1) 不祥事防止、情報漏えい対策の現状はどうか。

5. 8番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 大災害発生時における支援活動について

11月22日参議院本会議において、南海トラフ巨大地震に備え地方自治体の津波対策への財政支援を強化する特別措置法が成立するなど、島田市を含む東海から九州地方までの太平洋沿岸地域の大地震発生に対しての対策が各方面で進められている。

災害発生時において、まず自分の身を自ら守る「自助」、次に自分が無事であった場合周辺の人と互いに助け合う「共助」、そして災害に被災した住民を自治体が助ける「公助」が唱えられてきているが、南海トラフ巨大地震などの広域に大災害が発生した場合、自治体自体の機能が壊滅的な被害に遭い、公助は期待できない場合が予想される。その場合、広域的な自治体同士の支援が必要となり、それに備えた施策に取り組む必要があると考え、以下の点について伺う。

- (1) 第4次地震被害想定における島田市の被害内容はどうか。
- (2) 国及び静岡県との災害時の連携はどのようになっているか。
- (3) 島田市と防災協定を結んでいる自治体との支援内容はどのようになっているか。
- (4) 島田市への災害支援経路をどのように考えているか。
- (5) 東日本大震災を検証して、島田市の防災対策及び被災時の対応にどのように生かしているか。
- (6) 島田市の地域性である交通結節点や内陸部などを考え、東日本大震災における岩手県遠野市と同様の沿岸被災地への後方支援拠点となることを想定しないのか。

2. 子育て環境整備のための公園整備への取り組みについて

就学以前の子供と母親やその家族が中心になり、楽しく安心して遊ぶことのできる公園は、子育て環境の一部として大きなウエートを占めていると思われる。他市から嫁いで来た方から「島田市には身近に楽しめる公園が少ない」と言われることが多い。そこで公園整備に対する考えを以下伺う。

- (1) 島田市が管理する都市公園の市民1人当たりの面積をどのくらいと考えるか。
- (2) 公園に設置している遊具類の点検方法と、過去の事故報告内容はどうか。
- (3) 今後の公園整備における重点と考えるコンセプトはあるか。

3. 高度教育機関誘致に対する取り組みについて

前市長が取り組んでいた大学誘致は諸条件が整わず、施策として取り組んできた産学官連携プロジェクト推進事業は終了し、11月定例会においても減額補正予算が提案されている。過去において何回も大学誘致に取り組んだり、教育研修施設等の誘致が行われてきたと思われるが実現していない。

現在、東海道本線沿線の市において大学や専門学校等の高度教育機関が存在しない自治体は少ない。高度教育機関が市内に存在することは人口の流入、経済活動の波及など地域の活性化のために大きな役割を占める。待っているだけでは島田市への学校設置はなく、誘致活動が必要であると考え、以下伺う。

- (1) 産学官連携プロジェクト推進事業は終了となるが、今回誘致活動した大学以外に島田市に大学などの高度教育機関を誘致する施策に取り組む考えはあるか。

6. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 循環する社会

- (1) 自然を利用した持続可能な循環型社会の形成に寄与した事業は、過去に何があったか伺う。
- (2) 地方自立促進要請のもと地方交付税の大幅カットを国に言い渡され、独自財源だけで島田市を回さなければならなくなった場合、どう対処していくか予測と理想を伺う。

2. 食、電力、燃料の地産地消

(1) 食の地産地消

- ① 島田市の食料自給率は何%で、理想の食料自給率は何%か伺う。
- ② 大規模農場と家庭菜園を推進するのでは、どちらのほうが地産地消につながりやすいのか伺う。
- ③ 在来品種の野菜は市内で何種類栽培されているか、品目と数量を伺う。
- ④ 今は見かけない作物だが、当時の文献、記録では盛んに栽培されていた作物は何か伺う。
- ⑤ 学校給食の食材を全て無添加無農薬にした場合のコストとメリットを伺う。
- ⑥ 川根温泉宿泊施設の食事について、地元特産メニューは何を想定しているか伺う。

(2) 電力の地産地消

- ① 市内にある発電所全ての発電量を換算した場合、島田市の発電自給率は何%に相当するか伺う。(発送電の権利者は問わない)
- ② 浜岡原発について島田市の態度を明確に示さないことは、中部電力に対する思いやりなのか伺う。
- ③ 将来、国策等により浜岡原発が廃炉になり中部電力の関係職員が多数失業した場合、市は必要に応じて数名でも雇用の受け入れ、あっせん等に努める考えがあるか伺う。
- ④ 地域での発電は、今後どのような新しい方法が想定、予測されるか伺う。

(3) 燃料の地産地消

- ① 市内の山林から出た間伐材や竹からガソリン代替バイオ燃料を精製し、公用車に給油して走行することや、市民に販売することは可能か伺う。

3. 次世代に示しを、山林崩壊

- (1) 島田市が目指すべき山林のあり方について伺う。
- (2) 市民生活のありとあらゆる根源である南アルプスにリニア新幹線のトンネル工事が行われることになるが、JR東海側から島田市に説明はあったか。また、市として何らかのアクションを起こしているか伺う。
- (3) 市内の山林のうち間伐を必要としている山林面積は何%あるか。また、伐採適齢期に入っている山林面積は何%あるか。
- (4) 手入れを必要とする市内の山林を全て手入れしようとした場合、予算、作業員、期間はどれくらい必要か伺う。
- (5) 山が果たしている機能と現状、課題について学校教材で教えているか。また、その教材はいつから採用されているか伺う。

7. 5番 山本孝夫 議員 (一問一答)

1. 行政組織の再編について

現在後期基本計画を策定している中、行政組織の部署について再編すると聞いている。後期基本計画の中に市長のカラーを打ち出して市政運営を行っていくべきと考える。

これからの島田市を考えると、住民の高齢化と人口減少、財政の圧迫化等が予測される中で、力強く島田市の市政運営を行うため、組織再編があつてよいと考える。今回の再編について以下の点を伺う。

- (1) これまでの組織で何が足りなかったと認識しているか。
- (2) 再編する狙いは何か。
- (3) 後期基本計画との整合性についてどう考えているか。
- (4) 新しく設置する部署はあるか。また、新しい部署の設置と再編により経費の増加はないか。
- (5) 組織再編の評価はどのように行うか。

8. 10番 曾根嘉明 議員 (一問一答)

1. 島田市の財政状況について

市長は、島田市の財政は危機的状況でワーストワンだというような話をしている。一方、広報しまだ10月号では、実質公債費比率は10.0%で島田市の財政は健全ですと掲載されており、市民はどちらを信じてよいのか迷ってしまう。そこで真意を聞きたい以下について伺う。

- (1) 島田市の財政状況をどのように見ているか。
- (2) 実質公債費比率10.0%をどのように評価しているか。
- (3) 市長の考える財政の健全化とは何か。
- (4) 今後健全化に向けて具体的にどのような対応を考えているか。

2. 借金時計について

市のホームページで借金時計を公表しているが、その目的や見方を市民にどのように理解してもらうのか、その借金をどのようにしていくのか今後の対応について以下伺う。

- (1) 借金時計を公表した目的は何か。
- (2) 借金の主な事業内容について
- (3) 今後借金がふえる施策を考えていくのか、減らす方向でいくのか考えを問う。

9. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

1. 福祉に関する件

- (1) 現在、市が関係する障害福祉サービスはどのようなものがあるのか伺う。
- (2) 市が障害者受給者証を発行している方は何人いるのか。また、市民全体の何%に当たるのか伺う。
- (3) 今後10年で、島田市の高齢者も含めた社会的弱者の割合が何%ぐらいになるのか伺う。
- (4) 特別支援学級について、現在市に何クラス存在するのか伺う。
- (5) 島田市において、特別支援学級に配置する教職員の人数は平均何人か伺う。

2. 老朽化施設に関する件

- (1) 今後20年で市が保有する施設について、老朽化対策をどのようにしていくのか方向性を伺う。

10. 12番 河原崎 聖 議員 (一問一答)

1. 道路づくり、街区づくりの方針について

(1) 道路づくり

- ① 島田市の交通の要衝としての利点を生かすために、新たな道路整備は必要と考えているか。
- ② 次の大井川架橋についての方針はどうか。
- ③ 近隣の市町と比べてJ R東海道本線にかかる立体交差が少ないように感じるが、この問題に取り組む考えはあるか。
- ④ 道路の補修について、やり方を変える考えはあるか。

(2) 街区づくり

- ① ここ数年は新たな区画整理が行われてこなかったが、その必要性についてはどのように考えているか。

2. 防災政策について

(1) 防災政策全般の考え方について

- ① これまでの防災政策についての問題点はどのようなものと捉えているか。また、それらについてどのように取り組む考えか。

(2) 個別の問題について

- ① 地域防災計画の策定についてはどのように取り組む考えか。
- ② 危機管理部が必要と考えた理由は何か。
- ③ 防災会議や災害対策本部の編成についてどのように考えるか。

11. 6番 森 伸一 議員 (一問一答)

1. 島田大祭について、以前から財政面、運営面、観光面などでいろいろな問題点が指摘されている。伝統ある大祭が多くの市民の協力、賛同を得られる形になり将来にわたって存続すればよいと考えている。そのためにも今回の大祭についてどのような総括がされているか、以下伺う。
 - (1) 寄附の集まり具合や参加者の負担金の財政的なこと、祭り参加者の確保に関して、どのような悩み、問題点があったか。
 - (2) 新聞によると3日間の人出は50万人と書かれていたが、この数値の根拠と観光面での成果はどうであったか。
 - (3) 3日間のスケジュール内容について、観光客からどのような意見があったか。
 - (4) おび通りが「おもてなし広場」として利用されない理由は何か。
 - (5) 祭りについて、市の補助金を少しでも使ったパンフレットは何種類つくられたか。また、パンフレット名は何か。

2. 島田市総合計画の7つの施策の柱の一つ「自然と共生する資源循環型のまち」について、第2次環境基本計画と関連させて、以下伺う。
 - (1) 第2次環境基本計画に前計画の3-4、3-5にあった「まちと交通」が抜けた理由と、この項目はどこに移されたか。
 - (2) 小水力発電の導入を検討とあるが、どの程度しているか。
 - (3) 3Rの取り組みで、リサイクルに比べリユース、リデュースを重点取り組みにしなかった理由と、1日1人当たりのごみ排出量の目標数値が前計画時と比べ多目になった理由は何か。
 - (4) 環境学習講座事業の取り組みはどうなっているか。
 - (5) 最近10年間の里山整備の取り組みと、どのような成果が出ているか。

12. 3番 横田川 真人 議員 (一問一答)

1. 島田市の財政の方向性について

島田市の財政状況は、市長が交代してから借金時計をつくるなど、財政の健全性を意識した取り組みが見られる。そこで今後の財政運営の方向性を問う。

- (1) 財政健全化判断の4指標と経常収支比率は、現状これをどう考えているか。
- (2) 国からの補助金や市の一般財源として扱われている地方交付税について、今後の見込みはどうか。
- (3) 自主財源確保のための施策はあるか。

2. 水路橋の通行について

神座・横岡をつないでいる水路橋について、現在車の通行が可能であるが監視員を配置しての2時間ごとの交互通行である。さらに夜間は通行ができない。そこで以下伺う。

- (1) 今後ともこの体制を維持していくのか。
- (2) 監視員の費用は年間幾らか。
- (3) 利便性向上のための考えはないか。

13. 17番 大石 節 雄 議員 (一問一答)

1. 島田市の観光行政のあり方について

国や地域の経済活性化は、言うまでもなく大企業、中小企業、地域の基幹産業などそれぞれが有機的に連携し、雇用の創出や人・物の流通が活性化され景気が上向くことにある。そのような中、我が島田市においては企業誘致、基幹産業であるお茶、林業、商工業に対する施策は重要なものとする。市長が所信の中で言っているように、まずは足元をしっかりと見据え、いま現にこのまちに暮らす10万人余の市民のための施策を堅実・着実に実行していくことが市政運営のかなめである。

しかし、交流人口増加策について、行政が現状維持の状態では満足しては、地域経済の活性化としてはマイナスではないかと思う。そこで、将来に希望が持てる島田市の実現に向けて、観光を利用した外需を獲得する島田市の観光行政のあり方について以下質問をする。

(1) 最近の観光イベントの取り組み状況について

- ① 各種祭り、イベントと行政のかかわりについてどのような状況か伺う。
- ② 各観光イベントの経済効果はどのように評価しているか伺う。
- ③ 観光客の交通手段は何が多く、その対策はどうか伺う。
- ④ 今後どのような方針を持っているか伺う。

(2) 新たな観光資源の発掘について

- ① フォトログейニングの実施結果はどうであったか伺う。
- ② 第2回国際陶芸フェスティバルの地域活性化の効果はどうであったか。
- ③ 富士山静岡空港、新東名を活用した事業の計画はあるか伺う。
- ④ 新たな観光資源の発掘を考えているか今後の方針を伺う。

14. 14番 紅林 貢 議員 (一問一答)

1. 公平・公正とは何か

染谷市長の公約の一つでもある公平・公正の考えのもと、事業が進められようとしているが、市長の考える公平・公正とは何か。

2. 水道事業について

(1) 金谷町と合併して9年が経とうとしているが、上水道事業はいまだに統合されていない。その見解を伺う。

(2) 簡易水道事業の統合も国の方針で平成28年度をめどに行わなければならないと聞いているが、統合への準備は進んでいるのか。

3. 農業への助成について

(1) 防霜ファン更新事業への助成について

① 平成25年度防霜ファン更新事業の規模は、平成24年12月15日以降変動があったか。

② この事業に必要な借入資金に対し、島田市が利息を助成してくれることとなっているが、その期間を5年以内とした理由は何か。

(2) がんばる認定農業者支援事業について

① この事業は、事業期間が平成24年度から平成28年度までの5年間であるが、事業期間の延長を望む声が多い。事業を平成29年度以降も継続する考えはないか。

② 現在既に平成28年度まで資金利用の申し込みが埋まっていると聞く。予算を増額する考えはないか。

15. 11番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 安全でおいしくて豊かな学校給食の充実について

金谷・西部・北部・東部の4つの学校給食共同調理場が統合され、6,300食対応の新調理場が建設される。大型センター化は調理場の合理化であるが、子どもたちには、安全で、おいしくて、豊かな給食が提供されなければならない。以下伺う。

(1) 新調理場での職員(栄養士、調理員)の配置数、配送のルート及び喫食までの時間はどうなるのか。

(2) 学校給食の地産地消推進事業について

① 平成24年度の島田産品の導入実績は品目、重量でどうか。契約農家数、団体数はどうか。また、肉・魚は市内業者に発注しているか。

② 新調理場でも地場産品の導入を引き続き実施すべきだがどうか。

③ 米飯給食には、100%島田産の米が使われていると聞く。和食を給食の基本にして、米飯の回数をふやすべきと考えるがどうか。

(3) 新調理場では、新たにアレルギー対応食を実施するとしている。以下伺う。

① 児童・生徒の食物アレルギーの実態把握はどうしているか。

② アレルギー対応食の献立、調理、配膳の仕方について

③ アレルギー症状が出た場合の緊急時対応はどうなっているか。

④ 学校や担任と調理場との情報共有、連携はどう図るのか。

(4) 現在、食材料費が値上がっているが、給食費への影響はどうか。

2. 生活保護制度について

(1) 生活保護世帯の日常生活費に当たる生活扶助の基準額が8月から引き下げられた。2015年4月までに総額670億円、6.5%の減額が見込まれる。過去最大の引き下げであり、さらに厳しい生活が強いられ、憲法第25条の生存権を脅かす事態だ。保護基準の引き下げに伴う影響について以下伺う。

① 島田市の生活保護受給者で該当する人数及び削減額の実態はどうか。

② 保護費決定通知書を本人が見てもわかるものにすべきだがどうか。

③ 保護基準の引き下げが、就学援助受給者に影響を及ぼすことのないよう、対策をとるべきだがどうか。

(2) 島田市の保護率は、県内でも低く0.28%(2013年5月分)となっている。福祉事務所の窓口申請書を置き、申請者の意思を尊重した運用を行うことが必要だがどうか。

16. 18番 藤本善男 議員 (一問一答)

1. 水環境の保全について

島田市では大井川の豊かな水資源を有効活用し、まちづくりが進められている。しかし、一方ではリニア新幹線の工事に伴い水源である南アルプスにおける湧水が問題視され、当市への影響も懸念される。島田市における安定的な水資源確保に向け、以下伺う。

(1) 島田市における大井川水系の水利用状況について

- ① 島田市内における地下水のくみ上げ量の実態はどうか。
- ② 島田市が利用できる地下水の賦存量は把握しているか。
- ③ 地下水に関する市民からの苦情は出ていないか。

(2) 水源地湧水への対応について

- ① 市はリニア新幹線工事の与える影響をどう考えているか。
- ② 南アルプス水源地の湧水が懸念されるが、市はどのような対応を行っているか。

(3) 地下水の保全、涵養について

- ① 地下水利用に関する決め事はどのようになっているか。
- ② 地下水の涵養に対する市の取り組みはどうか。

2. 情報セキュリティについて

個人情報の取り扱いの不備による不幸な事件が発生し、改めて個人情報に関する市民の関心は高まっている。島田市では市民課窓口の業務委託も検討されていることから、以下伺う。

(1) 個人情報の取り扱いに関する市の取り組みについて

- ① 市はどのような手段で個人情報の保護を行っているか。
- ② これまでに個人情報保護に関する問題は発生していないか。
- ③ 市職員に対する個人情報保護の教育などは適切に行われているか。

(2) 市民課窓口の業務委託について

- ① 市民課窓口を業務委託する理由は何か。
- ② 業務委託に際し、個人情報保護の観点から懸念されることはあるか。
- ③ 適切な事業者選定のためプライバシーマーク認証制度を利用するとのことだが、有効性はあるのか。